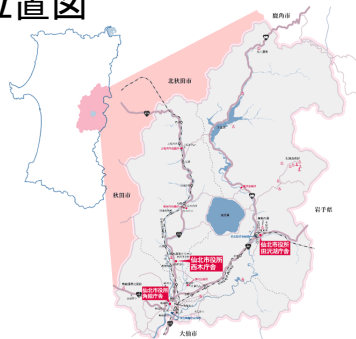


■事業のセールスポイント

スマートシティをハードとしての都市像ではなく、地域のイノベーションを生み出すエンジンとして捉え、グローバル・イノベーションの具体化(=先端技術やデータを活用した地域課題の解決に資する新しいサービスが社会実装されること)を目指すことで、市民生活の質の向上、産業の活性化や雇用の拡大等地域内の生産性向上に繋げる。

■位置図



■対象区域の概要

- 秋田県仙北市(全域)
- 1,093.56km²
(うち892.05km²が森林地帯)
- 25,857人(R1/12月時点)

■対象区域のビジョン

地域課題について、AI・ロボット技術等の最先端技術を積極的に活用し、Society.5.0を地方から実現するグローバルイノベーションのモデルケースを構築。

■本事業全体の概要

Society 5.0 仙北市が目標とする将来像 **小さな国際文化都市** SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



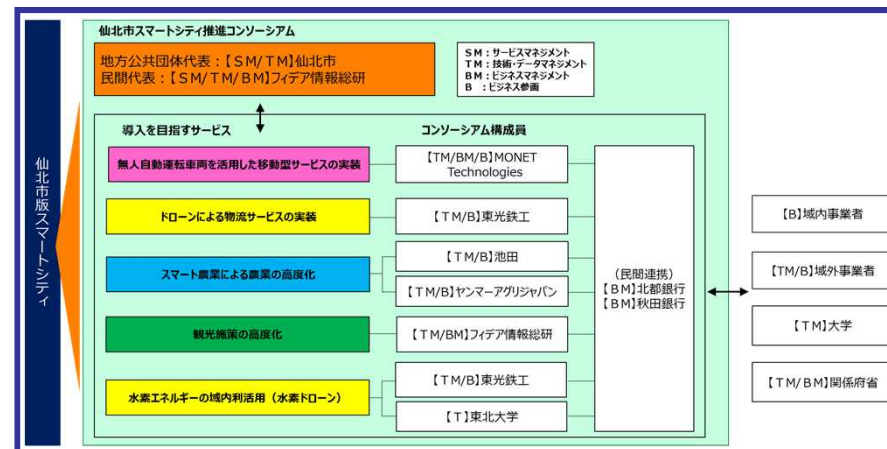
仙北市版グローバル・イノベーションのイメージは、最先端技術を地域課題の解決に積極的に活用し、次世代を担う世代が住みたくなるまち、自らの夢を自らが生活する地で実現することができるまちを目指し、国際交流を推進しつつグローバルな視点で地域活性化を図る小さな国際文化都市を実現するためのまちづくりを推進すること。

■ スマートシティの目標(KPIの設定)

仙北版スマートシティの取組は、サービスの実装により地域へ変革をもたらし、グローバル・イノベーションの創出を行うことから地域の活性化に寄与するものであることから、各取り組みにおける目標を全体のKPIとし設定し、成果の検証を実施することとする。

取組分野	重要業績評価指標(KPI)		
	指標	基準値	目標(2030年)
交通・モビリティ	自動運転型モビリティサービス 売上高	0円	4,300,000円
エネルギー	水素供給サービス 売上高	0円	1.1億円
観光	観光宿泊者数	514,256人 (2018年3月)	860,000人
農業	農業産出額	56.2億円 (2015年)	60.0億円
ドローン	ドローンによる物資配送サービス 売上高	0円	1,000,000円

■ 運営体制



■ 導入技術

○ 自動運転技術

「無人自動運転車両を活用した移動型サービス」を実装することにより、地元交通事業者の人材確保、路線の非効率化、財政支出などの課題にアプローチする。またこれを観光転用することで、観光二次アクセスの向上を図り、滞在型観光地化を推進するとともに、新しい観光サービスを実現する。



○ 農業IoT

「スマート農業による農業の高度化」により、農業従事者の作業負担を軽減すると共に、効率化により生産性を向上させ、営農年齢の延伸を図る。また、AIやデータの利活用により安定的な栽培方法を確立することで、新規就農者や若年層の就農者獲得を目指し、社会減を抑制すると同時に次世代の農業の担い手を育成し、仙北市の基幹産業としての農業を維持発展させる。



○ ドローン

「ドローンによる物流サービス」の実装により、物流事業者の人材を確保しつつ、配送の効率化を行い、買い物等市民の生活に必要なサービスを維持発展させると共に、これによるライフスタイルの変革による若年層に魅力的な産業の創出を図る。河川上を主な飛行経路としたサービスを検討する。

○ 観光人流データ

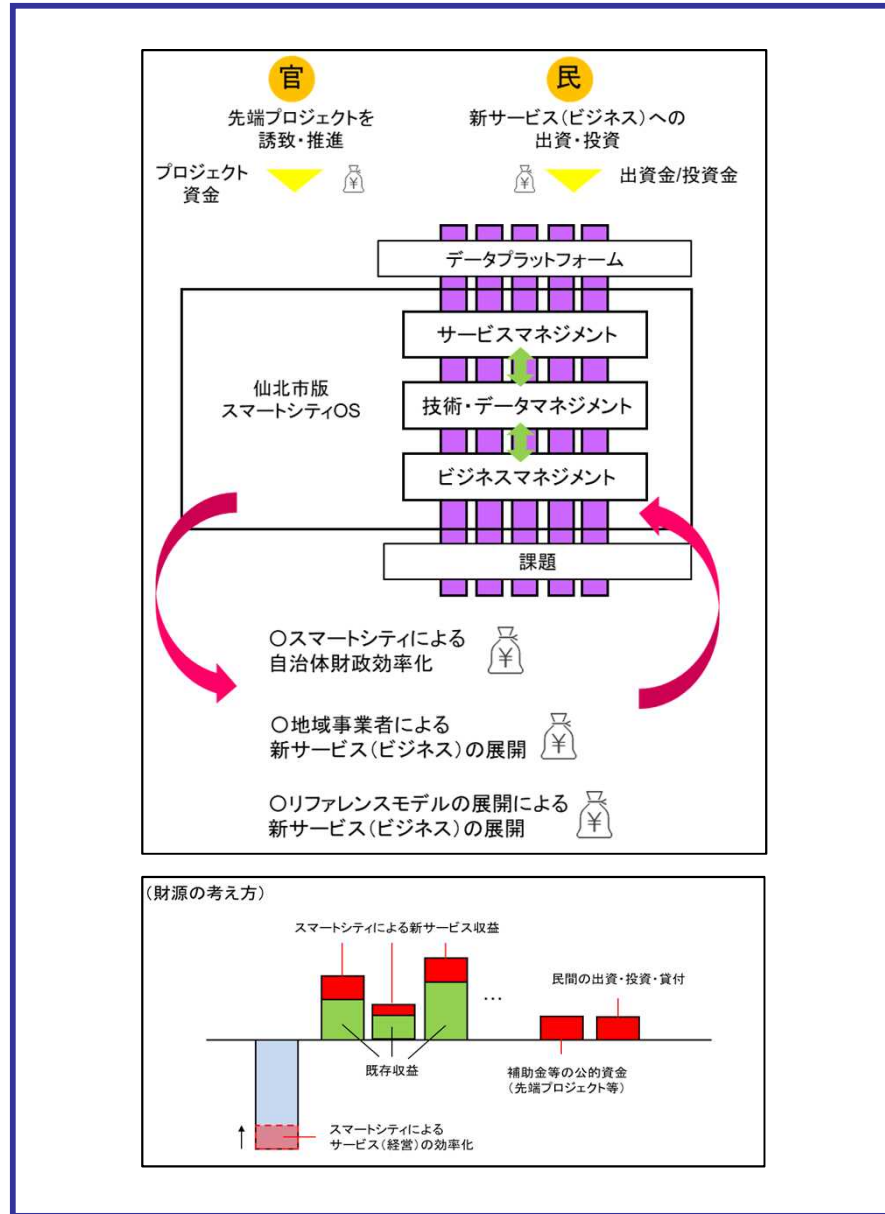
観光人流データの活用などにおける「観光施策の高度化」により、通過型観光地から滞在型観光地への転換を目指し、宿泊者数や観光消費額の向上を図る。

○ 水素エネルギー

玉川温泉から得られる水素について、水素ドローンへの搭載を検討し、ドローンの社会実装を促進することで、地域内でのエネルギーの地産地消を目指し、新しい産業の創出を図る。

※2020年3月時点

■ ビジネスモデル



■ スケジュール

